

高等部の教育目標

- 心身ともに健全な生徒
- 自分のことは自分でできる生徒
- みんなと協力し合う生徒
- よく考えて行動する生徒
- 意欲的に働く生徒

高等部の教育課程

生徒個々の実態に応じ、卒業後の生活を見据え「生活する力」および「働く力」の指導に努めています。
 具体的には、「各教科学習」を「実生活」と則しながら授業を展開し、具現化することで卒業後の生活へ汎化しやすい形で取り組んでいます。また、「働く力」は職業を中心に他教科とも連携し、生徒の実態や自己選択・自己決定を尊重する進路指導を実施し、実践的・実際の授業を展開しています。

行事や授業の様子

[総合的な探求の時間]

隣接する沖縄水産高校と、毎年交流会を行っています。自己紹介や雑談で交流を深めた後、レクを行います。
 昨年度より、新たに糸満高校との共同学習も実施しました。



[校内実習及び就業体験]

前期就業体験では、1年生は校内実習。2・3年生は企業や就労支援施設等での校外実習を行っています。また、3年生は後期実習も行っています。進路決定に向けて大切な実習です。

[学習発表会（販売学習）]

1月末に行われた学習発表会では日頃の職業で取り組んできた成果物の販売活動を通して各職業班の学習活動を紹介しています。昨年度から、開催規模を広げ本校全ての保護者や家族、OB OGも参加・激励に訪れたり、とても大盛況でした。



幼児児童生徒数

令和6年4月1日現在

	幼稚部	小学部	中学部	高等部	計
男子	2	55	28	41	126
女子	0	24	19	32	75
計	2	79	47	73	201

職員数

令和6年4月1日現在

	校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	事務職員	栄養職員	実習助手	司書	介助	用務員	A L T	講師	計	
計	1	2	1	9	5	2	3	1	2	1	4	2	1	1	116

*非常勤職員を含む

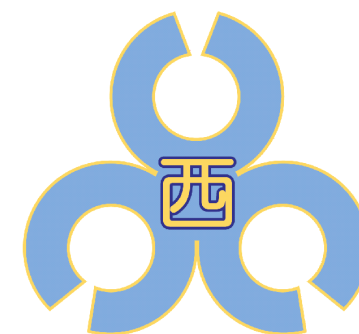
学校案内図



那覇市から
 バスセンターより
 89番線乗車。
 糸満入り口バス停にて下車。

西崎入り口
 ○バス停
 □ケンタッキー
 ○西崎入り口
 ○バス停

令和6年度 学校案内



本校のキャッチフレーズ
 『花と緑と笑顔あふれる西崎特別支援学校』

沖縄県立西崎特別支援学校

〒901-0305
 沖縄県糸満市西崎一丁目1番2号

TEL (098) 994-6855
 FAX (098) 994-6856

卒業生の進路状況（卒業時）

令和6年4月1日 現在

	高等部 卒業生徒数	卒業生の進路状況				
		一般企業	就労支援 施設	生活介護	地域活動 支援センター	その他
令和2年度	20	1	13	4	0	2
令和3年度	20	1	16	2	0	1
令和4年度	21	2	18	1	0	0
令和5年度	29	4	18	7	0	0
合計	90	8	65	14	0	3

教育相談

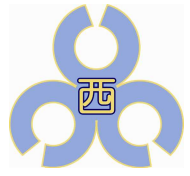
本校では、お子様についての悩みや不安、学習面で困っていること、就学等についての相談に応じています。お気軽にご連絡ください。
 (月～木曜日の10時～11時, 13時～16時の間受け付けています)
 電話 (098)-994-6855
 メール school@nishizaki-sh.open.ed.jp
 担当 特別支援教育コーディネーター 大工 玲奈



くわしくは、本校ホームページをご覧ください。

<http://www.nishizaki-sh.open.ed.jp/>

校章のねがい



西崎の「西」をとりまく三つの円は地域社会、幼児児童生徒、教師の三者を表し、輪をもって門を開き、温かく迎え入れ、幼児児童生徒がたくましく成長することを意味する。輪の中の水色は糸満の青い空、西の字を縁取る群青色は、糸満の青い海を表し、西の字と、三つの円を縁取る向日葵色は、太陽に向かって咲く向日葵を表している。

学校の沿革

本校は昭和63年4月12日、県立島尻養護学校から分離し、幼稚部および小学部、中学部、高等部あわせて104名の幼児児童生徒でスタートした。沖縄本島最南端である糸満市の埋め立て造成地に立地し、糸満市はもとより豊見城市、那覇市南西部を校区にもつ。

幼稚部の教育目標

- 明るく元気な子
- よく遊ぶ子
- 自分の力で行動する子

幼稚部の教育課程

3歳児から5歳児までを対象とする幼稚部では、生活経験の拡大を図ること、基本的生活習慣及び、人間関係の形成を図ることを目指して取り組んでいます。また、幼児の発達の道筋、幼児とのかかわり方の理解が深まるように、保護者が保育参加を行い、親と子が共に学べる環境を提供しながら、情報の共有、育ちの確認ができるように心がけています。

行事や授業の様子

【好きな遊びをじっくり楽しむ】

好きな遊びをじっくり楽しむ経験を通して、生きる力の基礎（意欲、身体の動き、手指の動き、コミュニケーションスキル等）を育みます。



【基本的生活の形成】

幼稚部の活動の流れがわかり、自分の身の回りのことに気づき、やってみようという気持ちを育むように努めています。



【交流会】

幼稚部内での異年齢児との交流、学校内の他学部との交流及び集会活動、地域の保育所・幼稚園・小学校とのふれあい交流を計画・実施しています。それぞれの関わりを通して、自分の気持ちに気づき、やりとりの方法を体験しています。



本校教育目標

本校の教育は、自立と社会参加、社会貢献する資質を養うために、一人一人の実態に応じた適切な教育を行い、自らの生活を豊かにするための基礎的な知識、技能、態度及び習慣を養い、明るく、たくましく生きる、幼児児童生徒を育成する。

小学部の教育目標

- 元気で明るく、あいさつのできる子
- 自分のことは自分でできる子
- 友だちとなかよくできる子
- よく考えて行動できる子
- 最後までがんばる子

小学部の教育課程

小学部では上記の教育目標を達成するため、児童の教育的ニーズに応じた教育課程を編成し、基本的生活習慣の形成を図り、学習したことが生活の場に生かされるように、日々の教育活動に取り組んでいます。また、居住している地域や学校とのつながりをもつために、居住地域の学校の授業や行事などに参加する「居住地校交流」や近隣の小学校との「学校間交流」なども行われています。

行事や授業の様子



【自立活動】

「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の6区分から、自立に向けた主体的な取り組みの教育活動を行います。

【生活科】

自立し生活を豊かにしていく力を、「見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶ」などの具体的な活動や体験を通して、学習していきます。



【居住地校交流】

居住地域の小学校の授業に参加します。地域の学校の児童との相互理解を図り、友好関係を広げます。経験をとおして、社会性を育みます。



具体的目標

- 健康で明るい生活をするために、必要な体力と安全な生活態度を育てる。
- 身の処置などの望ましい生活習慣の形成を図る。
- みんなと仲良く協力し合って、集団生活ができる能力や態度を育てる。
- 働くことに喜びを見だし、ねばり強くやりとげる意欲を育てる。

中学部の教育目標

- 心身ともに健康で明るい生徒（健康）
- 自分のことは自分でできる生徒（自立）
- 友達と仲よく助け合う生徒（協力）
- よく考え自ら進んで行動する生徒（自律）
- 最後まで喜んで働く生徒（勤労）

中学部の教育課程

幼小学部及び高等部との連携を保ち、一貫した系統性のある教育課程を編成しています。また個々の障害の特性や実態に応じた指導の工夫・改善を行い、自立と社会参加に向けた体験的な活動を多く取り入れています。

行事や授業の様子



【教科別学習】

各教科の目標と内容を踏まえ、生徒の実態に即して、生活と関連したねらいと活動を取り入れながら、段階的に学習をしています。（左の写真：理科の実験の様子）

【職業・家庭】

生徒個々の実態に応じた「家庭、木工、農園芸」など実践的・体験的活動を通して、将来の「働く意欲」「よりよい生活」を目指した学習を行っています。情報分野の学習や校内実習にも取り組んでいます。



【交流及び共同学習】

交流や共同学習を通して相互理解を深めるとともに、社会参加にむけて素地を養うことを目標として行っています。近隣の中学校と互いの学校を行き来しての交流会を、皆とても楽しみにしています。※令和5年度はリモートで実施

